

薬物依存って何？

～正しい知識と回復への道～



日時：2013年10月12日（土）

午後2時～午後4時

会場：ウィルあいち 大会議室

（名古屋市東区上堅杉町1番地） 詳しい地図は裏面へ→

「一度くらいなら大丈夫」という安易な好奇心や日常生活のストレスから逃れるために薬物を使い、繰り返しているうちに「薬物依存」という状態に陥ってしまいます。薬物依存になると、薬物の使用を止めようとしても自分の意志ではコントロールできなくなってしまいます。

この講演会では、薬物依存症対策の最前線でご活躍され、ハートネットTVでもおなじみの松本先生から薬物依存についての知識と回復のために何が必要なのかのお話や、実際に薬物で悩んだことのあるご本人や家族からの貴重な体験談などきけます。

薬物に関心のある方、お悩みの方、ご自身はもちろんあなたの大切な方を薬物依存から守るため、ぜひ御参加ください。

内容

1 講演

「薬物依存症とは～その理解と援助～」

国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 松本俊彦 先生

2 経験者本人からの体験談

3 経験者家族からの体験談



精神科医 松本 俊彦 先生

参加費：無料 定員：200名（先着順）

申込み：電話、FAXまたはe-mail（件名は薬物講演会申し込み）で

10月4日（金）までにお願ひします。

匿名での申し込みもできます。

FAXでの申し込み用紙は裏面へ



NHK(教育)ハートネットTVで
おなじみの松本先生が講演します

<申込み・問い合わせ先>

愛知県精神保健福祉センター

電話 052-962-5377

FAX 052-962-5375

e-mail seishin-c@pref.aichi.lg.jp

〈松本俊彦先生のプロフィール〉

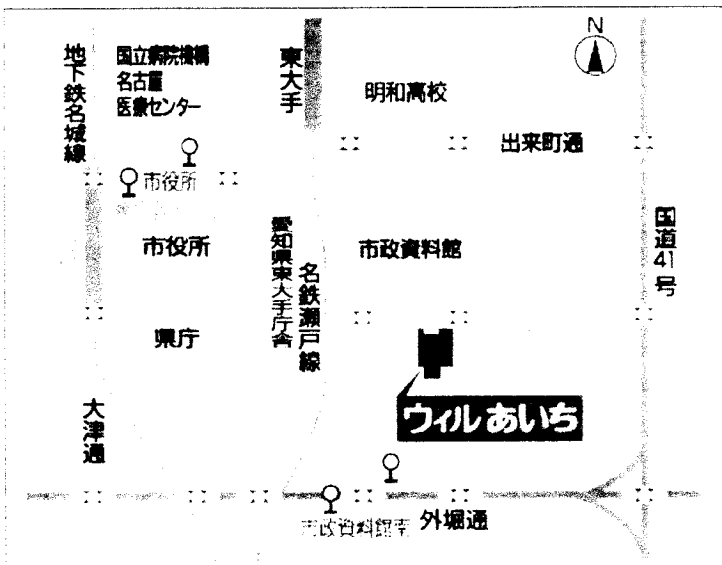
神奈川県立精神医療センター、横浜市立大学附属病院精神科などを経て、現在、独立行政法人 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所、薬物依存研究部 診断治療開発研究室長(自殺予防総合対策センター副センター長併任)。

薬物依存の治療プログラムの開発、実施のかたわらで、中学校や高校で生徒にアルコール・薬物や自傷行為についての健康教育を行ったり、自傷行為の調査を行い、それらの分野で社会に向けての啓発活動も行っている。

著書に「薬物依存の理解と援助—『故意に自分の健康を害する』症候群」(金剛出版 2005)、「自傷行為の理解と援助—『故意に自分の健康を害する』若者たち」(日本評論社 2009)、ほか多数。

ハートネット TV の「薬物依存」番組に出演し、薬物依存症当事者に対する社会的支援について語っています。

〈交通のご案内〉



ウィルあいち (愛知県女性総合センター)

〒461-0016 名古屋市東区上堅杉町1番地

【交通のご案内】

○公共交通機関をご利用ください。

最寄駅は、地下鉄「市役所」駅、2番出口

東へ徒歩約10分

または名鉄瀬戸線「東大手」駅、南へ徒歩約8分です。

○車をご利用の場合、有料駐車場になります。

〈FAXでのお申し込み〉

薬物依存症に関する普及啓発講演会 参加申込書

FAXでの申し込みは下記を記入の上、以下の番号に送ってください。

FAX 番号：052-962-5375

愛知県精神保健福祉センター企画支援課 行

機関名： _____

氏名(代表者)： _____

※個人の方は匿名(空欄)でも可

参加人数： _____人

※代表者含む

10月4日(金)必着

※ ご記入いただいた個人情報は本講演会のため使用し、それ以外の目的で使用することはありません。